

介護予防コミュニティ モデル事業～「ちょっと ボケてもまかしときま い」まちづくり事業～

自治体情報

人 □ 111,963人

標準財政規模 1,935,334千円

担当課 香川県 丸亀市 健康福祉部 介護支援課

電話 0877-98-7955

ホームページ <http://www.city.marugame.lg.jp/>

事業期間 平成20年度から平成24年度まで

参考とした施策

関係施策分類 ①

施策の概要

1 取り組みに至る背景

認知症の予防・ケアを推進していくためには、早期発見・早期対応に加え、地域での見守り・ネットワーク作りが重要となるが、本市における取組はまだ十分とはいえない状況である。そこで、地域みんなが認知症の理解を深め、認知症にならないようにすることはもちろんのこと、認知症になった場合にも住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせるために、住民の自主的な活動を通じて地域ぐるみの介護予防を推進する。

2 事業内容（目的・目標・方策）

(1) 目的

だれもが健康で安心して暮らせるために、市民と行政が協働でまちを創る。

(2) 目標

短期（1～3年）：コミュニティにおいて認知症の課題を認識し、まちづくりの中で認知症の予防とケアに関する取組について、モデル地区を設けて検討・実施する。

中・長期（5年）：地域社会によるインフォーマルサービスを全コミュニティへと広げ、地域ネットワークの形成により、行政だけではカバーできない面でのサービスを充実し、さらにはコミュニティ活動の活性化へとつなげる。

(3) 方策

【平成20年度】

地域コミュニティ3ヶ所をモデル地区として選定し、コミュニティ毎に運営委員会、企画ワーキンググループを設置した。企画ワーキンググループでは、ワークショップ形式で認知症の基礎知識を学び、コミュニティの実状に応じた取組を検討した。

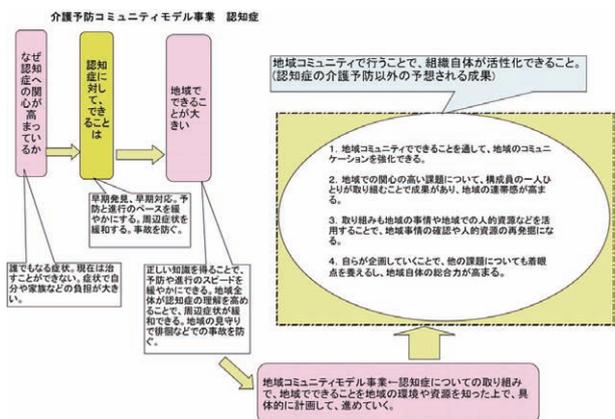
【平成21年度】

① 20年後開始の3ヶ所のモデル地区において、地域コミュニティを単位として地域の特性を活かした取組を実施する。

< 取り組み例 >

- ・コミュニティで講師を養成し、各自治会での学習会の開催
- ・認知症の方の集まる場づくり、親子認知症学習会などの開催
- ・具体的な活動をする核となるサポーターの養成等

② 新たにモデル地区となるコミュニティを2ヶ所追加して、平成20年度と同様に、ワークショップ形式でコミュニティによる具体的な取組案を作成する。



3 施策の開始前に想定した事業効果

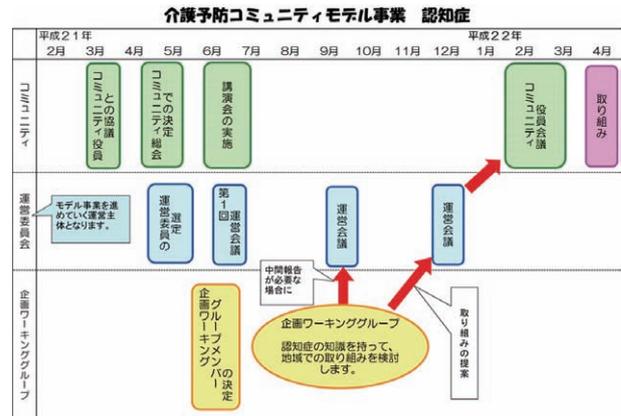
認知症を隠さず、見守り、支える地域全体の意識が向上し、地域の実情に応じた取組が可能となる。

- ①認知症の早期発見、早期対応
- ②地域で認知症高齢者を見守るネットワークの形成
- ③認知症高齢者や閉じこもり高齢者等の身近な活動の場の創出
- ④認知症介護者に対する地域での支援体制づくり

4 導入にあたり工夫・苦労した点、課題、対処法など

本市においては地域コミュニティを基盤としたまちづくりを推進していることから、介護予防を通じて、地域で高齢者を支え、また高齢者同士が支え合いながら生活できる環境を築いていけるよう本事業を導入した。また、認知症専門医を運営委員会のアドバイザーとして配置し、本事業が円滑に推進していけるよう配慮した。

事業の推進にあたっては、コミュニティによって理解度が異なり進行のスピードに差が出たが、市として個々の実情に見合った対応をおこなったことにより、コミュニティにおける人材の発掘に結びつけることができた。



5 現在の成果・実績、今後の展開など

地域の中で、自らの意思で積極的に介護予防に取り組む動きが出て来ている。また、今まで地域の介護予防では広範な連携がなかったが、コミュニティの事業として取り組むことで認知症の予防が地域でも話題となり、関心が高まり、連携も徐々に図られつつある。平成22年度は、モデル事業の報告会・シンポジウムを開催し、コミュニティで実践できるプログラム作りを行い、市内全コミュニティに取組を広げ、介護予防をひとつの手段として地域の力を引き出していきたい。

予算関連データ 丸亀市

平成20年度額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
87千円		0千円	0千円	0千円	0千円	87千円
①～④の名称・所管等	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					